

# 咀嚼機能研究施設

3号館 3F

咀嚼に関する各種研究用実験装置を設備している。

特に、咀嚼時における生体電位（顎・顔面の筋活動など）を測定・記録するための機器を設置したシールドルームや足底の圧力分布測定器を設置し、咀嚼運動と全身機能との関連性等の研究に用いている。



## シールドルーム

生体モニターの測定精度を高めるための電磁波遮蔽室。



## 圧力分布測システム I-SCANT-SCAN (ニッタ)

超薄型フィルム状センサーを用いて圧力分布を測定する装置。



## 経頭蓋磁気刺激装置 Magstim2002 (ミユキ技研)

単発の磁気刺激パルスを用いて生体での組織電流を誘導し、神経や筋組織を刺激することができる装置。